

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65%	自校A B層の割合	65%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○互見授業の推進や教科担任制の実施、算数少人数指導の共通理解等による、授業改善を図る。 ○算数科の問題解決型学習を中心に、児童が考えを練り上げることができる学習過程を共通取組とする。 ○1日1コマ以上ICT機器を使用した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを表現する力を付けるため、授業の話型を提示したり、スピーチを行ったり、継続的な取組を行う。 ○週2回程度、タブレット端末内の学習アプリ（ドリルパーク等）を課題として出す。 ○東京ベーシックドリルの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○「お子さんの学力向上のために大切なこと（東京都教育委員会）」を配布し、保護者の協力を促す。 ○自分の考えを表出する力の育成を図るため、低学年では「日記」、中高学年では「調べる学習」も継続的にかつ時間をかけて家庭学習で取り組む。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」を明確にし、1単位時間の授業に見通しをもてるようにする。 ○場面に応じて具体物や視覚的教材等を用いて、自ら課題をもてるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末内の学習アプリを活用し、類似問題に取り組み、復習を実施する。 ○放課後補習教室への参加を促し、事業者担当と連携を図りながら、児童に必要な手立てを検討し、対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT教材の活用や家庭と協力することで、個別最適化を図り、取り組む意欲を出せるようにする。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査質問用紙「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」肯定的な回答の割合70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京ベーシックドリル診断テストの8割達成者80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査質問用紙 ①「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」肯定的な回答の割合85%以上 ②「授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか」1時間以上の回答割合 90%以上